



子供たちに思いを馳せて

～「待つ」～

校長 加藤 敦彦



3月3日の校庭

校長室のドアを開けると、校庭の銀杏の新緑が目飛び込んできました。時の流れを感じます。

新型コロナウイルスの感染防止のため、緊急事態宣言が延長され、学校も引き続き休業となりました。出口の見えない中で、子供たちの心身の健康に思いを馳せ、様々なことを準備しながら、また「待つ」日々が続きます。でも元気があれば何でもできます。

さて、この「待」という一文字についてですが、行にんべんに「寺」と書きます。何かを手にとって道の途中で足を止める様子を表しています。さらに「もてなす」「そなえる」という意味も合わせ、受け身の姿勢で事を待つ様子を表す漢字が「待」となったようです。きっと、いにしえの人々にとって、厳しい寒さに耐えながら春を待ちわびる気持ちは切実だったのでしょう。『果報は寝て待て』『待てば海路の日和あり』など、辛抱強く待ち続けることができたからこそ、醸す、熟す、育つなど、待つ過程を経て得られる豊かさを知ったのです。



4月30日の校庭

静かに待つことを忘れ、木々の緑の変化にも気付かない、せわしさの中で過ぎたふた月だった、そんな気がします。

「時ものを解決するや 春を待つ」(高浜虚子)

漢字の起源をたどると、三千年以上も前の人々からの「待」というメッセージ。そういえば、今日一日も違って見えるかも知れません。まもなくです。

On Line よさと怖さ

「区学力調査(H31年度)アンケート」より

Q 自分の携帯やスマホを持っていますか

- ・持っている 72.6% (69.6)

Q 平日の1日にどれくらいゲーム機やスマホでゲームをしますか

- ・全く、ほとんどしない 14.3% (14.5)
- ・1時間未満 39.3 (28.7)
- ・1時間以上 46.5 (56.8)

★学力との相関

1時間以上ゲーム(上位層 23.9、下位層 68.1)

Q 平日の1日にどれくらいテレビやビデオ、DVD、スマホ(動画)を見ますか。

- ・全く、ほとんど見ない 4.8% (4.3)
- ・1時間未満 23.8 (22.5)
- ・1時間以上 71.3 (73.1)

「青少年のインターネット利用環境実態調査」

2019年度結果(総務省)

- ・ネット利用率 小学生 86.3%
スマホ 小学生 49.8%
中学生 75.2%、高校生 97.1%
- ・タブレット
小 41.0%、中 35.9%、高 24.0%
- ・ネット利用内容
動画視聴 81.5% 勉強・学習 41.6%
ゲーム 78.8%、コミュニケーション 69.1%
- ・ネット利用時間
平均 182.3分、2人に1人は3時間以上

On Line

・発信されている様々な動画を視聴することが可能ですが、双方向になるとそのよさと危険性は背中合わせです。

★ご家庭での
予防策を!

リスク

- ・ネットいじめ
- ・仲間外し(ブロック)
- ・なりすまし
- ・チェーンメール
- ・出会い系サイト
- ・ゲーム等の課金
- ・個人情報の拡散
- ほか